

令和 7 年度浸水対策工事

数 量 計 算 書

①中町1 管きよ布設

- | | | | | | |
|-----|---|---|---|---|--------------------|
| (1) | 数 | 量 | 集 | 計 | 表 |
| (2) | 管 | き | よ | 工 | (開 削 管 径 250 mm) |
| (3) | 組 | 立 | マ | ン | ホ ー ル 工 |
| (4) | 取 | | 付 | | 管 工 |
| (5) | 付 | | 帯 | | 工 |

数 量 集 計 表

数量集計表

[illegible]

数量集計表

マンホール工	
組立マンホール工	
マンホール材料	
蓋及び受枠（内径600） T-25	4 組
調整金具 t =25mm	2 個
調整金具 t =45mm	2 個
調整リング t =100mm	1 個
調整リング t =150mm	3 個
斜壁ブロック ϕ 600× ϕ 1200×300 h	2 個
斜壁ブロック ϕ 600× ϕ 1200×450 h	1 個
管取付壁 ϕ 1200×1200 h	2 個
管取付壁 ϕ 1200×1500 h	1 個
底盤ブロック	3 個
削孔(2号人孔) ϕ 250(塩ビ)	1 箇所
削孔(1号人孔) ϕ 250(塩ビ)	2 箇所
転落防止梯子	4 組
ブロック据付工 H $\leq$ 3.0m	3 箇所
既設マンホール蓋及び受枠、調整コンクリートブロック撤去・復旧	1 箇所
既設足掛金物取替	9 本
スクラップ	0.084 t
底部工（開削部）No.315-1	1 箇所
1箇所当り	
砕石基礎工(施工面積0.17m ³)	0.23 m ³
インバートコンクリート $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	0.16 m ³
上塗りモルタル	0.81 m ²
底部工（開削部）No.315-2・No.315-3	2 箇所
1箇所当り	
砕石基礎工(施工面積0.17m ³)	0.23 m ³
インバートコンクリート $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	0.17 m ³
上塗りモルタル	0.76 m ²
底部工（開削部）（既設No.315）	1 箇所
1箇所当り	
インバートコンクリート撤去	0.29 m ³
インバートコンクリート $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	0.29 m ³
上塗りモルタル	1.77 m ²

数量集計表

[illegible]

数量集計表

取付管入替	
管路土工	
機械掘削工	5.2 m ³
機械投入埋め戻し工（発生路盤材）	1.4 m ³
機械投入埋め戻し工（切込碎石）	1.2 m ³
発生土処分工	3.8 m ³
取付管布設工	
取付管布設（φ150mm）人孔取付	1 箇所
既設取付管撤去	2 箇所
マンホール用可とう継手	1 個
削孔(1号人孔) φ150(塩ビ)	1 箇所
取付管布設（φ150mm）本管接続	1 箇所
管路土留工	
アルミ矢板建込工 1.5m＜掘削深≦2.0m	3.40 m
アルミ矢板引抜工 1.5m＜掘削深≦2.0m	3.40 m
軽量金属支保工（1段）	3.40 m
アルミ矢板賃料	1 式
軽量金属支保工賃料	1 式
開削水替え工	1 式
取付管撤去	
管路土工	
機械掘削工	4.5 m ³
機械投入埋め戻し工（発生路盤材）	1.3 m ³
機械投入埋め戻し工（切込碎石）	1.9 m ³
発生土処分工	3.2 m ³
管路土留工	
アルミ矢板建込工 1.5m＜掘削深≦2.0m	3.40 m
アルミ矢板引抜工 1.5m＜掘削深≦2.0m	3.40 m
軽量金属支保工（1段）	3.40 m

数量集計表

付帯工	
舗装撤去工	
舗装版切断工（バキューム式） $t \leq 15\text{cm}$	171.80 m
アスファルト切断濁水処分費	1 式
アスファルト切断濁水運搬費	1 式
舗装版破碎工 $t \leq 15\text{cm}$	85.74 m^2
Asガラ処分費	8.89 m^3
舗装仮復旧工	
表層工（車道） $t = 5\text{cm}$ 再生密粒度As	85.74 m^2
上層路盤工（車道C） $t = 25\text{cm}$ RM-40	79.44 m^2
上層路盤工（車道B） $t = 30\text{cm}$ RM-40	6.30 m^2
下層路盤工（車道C） $t = 20\text{cm}$ RC-40	79.44 m^2
下層路盤工（車道B） $t = 30\text{cm}$ RC-40	6.30 m^2

管きょ工(開削管径250mm)

管きょ工（管径 250 mm）数量集計表

工 種	種 別	規 格	単位	素掘り	アルミ矢板 建込 L=2.0m 軽量支保 1段 掘削深≦2.0m	アルミ矢板 建込 L=2.5m 軽量支保 1段 掘削深≦2.0m	アルミ矢板 建込 L=2.5m 軽量支保 2段 掘削深≦2.5m	アルミ矢板 建込 L=3.0m 軽量支保 2段 掘削深≦2.5m	合 計
管路土工									
	布掘工	バックホウ床掘 0.35m ³	m ³						m ³
	機械掘削工	バックホウ掘削山積み 0.28m ³	m ³		64.39	70.10	13.04		147.53 m ³
	土留タイプ別埋戻土量		m ³		31.24	36.96	6.93		m ³
	機械投入埋戻工	バックホウ埋戻山積 0.28m ³ （発生路盤材）	m ³						33.63 m ³
	機械投入埋戻工	バックホウ埋戻 山積0.28m ³ （切込砕石）	m ³						41.50 m ³
	機械人力埋戻工	再生砂	m ³						m ³
	発生土処分工		m ³						113.90 m ³
管布設工									
	路線延長		m		38.10	38.10	6.30		82.50 m
	土工延長		m		38.10	38.10	6.30		82.50 m
	管体延長	管布設工	m		37.20	37.20	5.25		79.65 m
	耐震性可とう継手	マンホール用 φ250mm	個						6 個
管基礎工									
	砂基礎工	機械施工（再生砂）	m ³		15.64	15.64	2.59		33.87 m ³
管路土留工									
	掘削延長	管路土留工 掘削深≦2.0m	m		38.10	38.10			76.20 m
		管路土留工 掘削深≦2.5m	m				6.30		6.30 m
		軽量支保 1段 掘削深≦2.0m	m		38.10	38.10			76.20 m
		軽量支保 2段 掘削深≦3.5m	m				6.30		6.30 m

管渠土工数量計算書

路 線 名	管 径	マンホール 番 号	平 均 掘 削 深		路 線 延 長 L	管 体 延 長		管 本 数						土 工 延 長		一 次 機 械 掘 削		二 次 機 械 掘 削		埋 戻 土 量								残 土 量 V7= V1+V2-V5	表 層 厚 (現 況)	表 層 厚 (計 画)					
								直管	下流 継手	上流 継手	副管 継手	可とう 継手	可とう 継手							掘削厚	土 量	掘削厚	土 量	基 礎 V3=L2× (G4× 0.466-D ² ×π/4)	埋戻土量 (人 力)	路 盤 控除土量 S= L2× G2orG4 ×h2	埋戻高 (機 械) H1= H-h3 -h4-0.466		埋戻土量 (機 械) V4= L2×G4× H1	発生路盤材 埋 戻 V5= V4 or S	切込碎石 機械埋戻 V6= V4-V5	h1	h3		
		人 孔 控 除	延 長 L1	受口		差口	受口							受口	マンホ- ル用	立 坑 控 除	延 長 L2	G1/G2	G1×G2×L2													G3/G4	G3×G4×L2	h2	h4
	mm		m	m	m	m	m	本	本	本	本	個	個	m	m	m	m ³	m	m ³	m ³	m ³	m ³	m	m ³	m ³	m ³	m ³	m/m	m/m						
315-1	250		1.71			0.45											1.69											0.10	0.10						
			1.87	1.79	38.10	0.45	37.20	9.3					2		38.10			1.00	64.39	15.64		15.24	0.82	31.24				0.40	0.40						
315-2	250		1.89			0.45											1.84											0.10	0.10						
			1.99	1.94	38.10	0.45	37.20	9.3					2		38.10			1.00	70.10	15.64		15.24	0.97	36.96				0.40	0.40						
315-3	250		2.01			0.45											2.07											0.15	0.15						
			2.42	2.22	6.30	0.60	5.25	1.3					2		6.30			1.00	13.04	2.59		3.15	1.10	6.93				0.50	0.50						
合計					82.50		79.65						6		82.50				147.53	33.87		33.63		75.13	33.63	41.50	113.90								

土留工数量計算書 (矢板工)

[illegible]

[illegible]

組立マンホール工

組立マンホール集計表

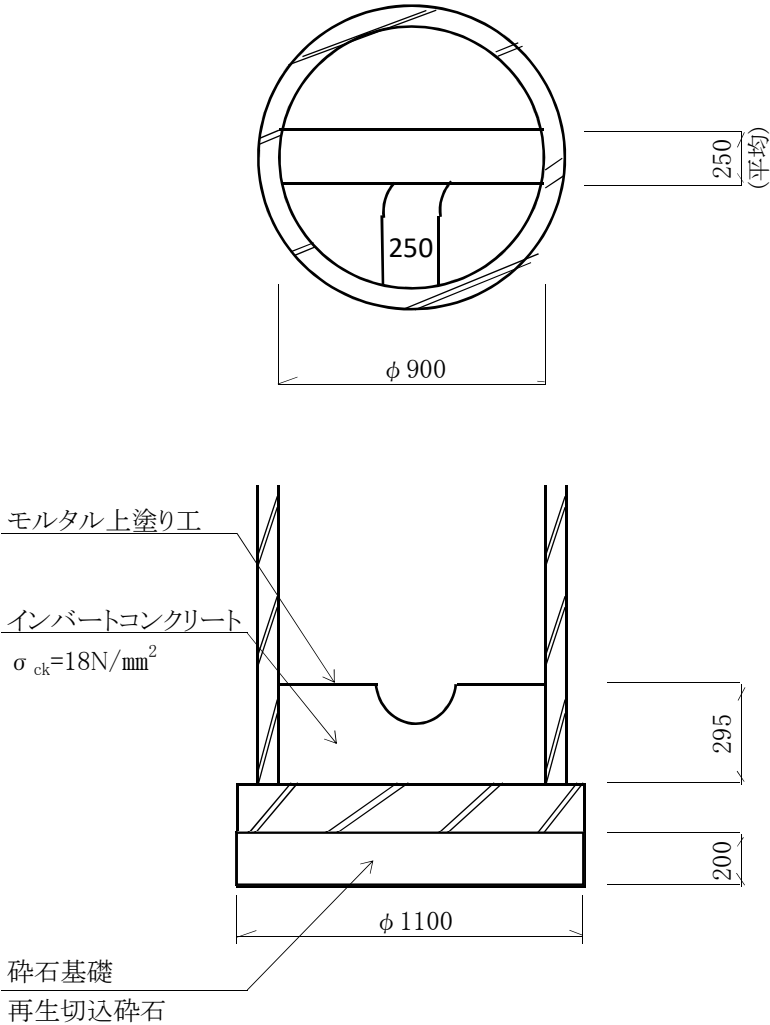
・蓋及び受け枠	内径600	T-25	=	4	組
・ "	内径600	T-14	=	-	組
・調整金具	t=25mm		=	2	組
・ "	t=45mm		=	2	組
・調整リング	t= 50mm		=	-	
・ "	t=100mm		=	1	個
・ "	t=150mm		=	3	個
・斜壁ブロック	φ 600× φ 1200×300h		=	2	
・ "	φ 600× φ 1200×450h		=	1	個
・ "	φ 600× φ 1200×600h		=	-	個
・直壁ブロック	φ 1200×300h		=	-	個
・ "	φ 1200×600h		=	-	個
・ "	φ 1200×900h		=	-	個
・ "	φ 1200×1200h		=	-	個
・ "	φ 1200×1500h		=	-	個
・ "	φ 1200×1800h		=	-	個

・躯体ブロック	φ 1200×600h	=	-	個
・ "	φ 1200×900h	=	-	個
・ "	φ 1200×1200h	=	2	個
・ "	φ 1200×1500h	=	1	個
・ "	φ 1200×1800h	=	-	個
・底版ブロック	130h	=	3	個
・削孔(2号人孔)	φ 250(塩ビ)	=	1	箇所
・削孔(1号人孔)	φ 250(塩ビ)	=	2	箇所
・削孔(1号人孔)	φ 200(塩ビ)	=	-	箇所
・内副管設置	φ 250-200	=	1	箇所
・外副管設置	φ 250-200	=	1	箇所
・既設足掛金物撤去・復旧		=	9	本
・既設マンホール蓋及び受枠、調整ブロック撤去・復旧		=	1	箇所
・転落防止梯子	内径600	=	4	組
・中間スラブ	(1号人孔後付用)	=	-	組
・ブロック据付工	H≤3.0m	=	3	箇所
・ "	3.0m<H≤4.0m	=	-	箇所
・ "	4.0m<H≤5.0m	=	-	箇所
・底部工	既設撤去	=	1	箇所
	開削部	=	4	箇所

1号組立マンホール数量計算表

[illegible]

1号マンホール底部工(開削部)数量計算書

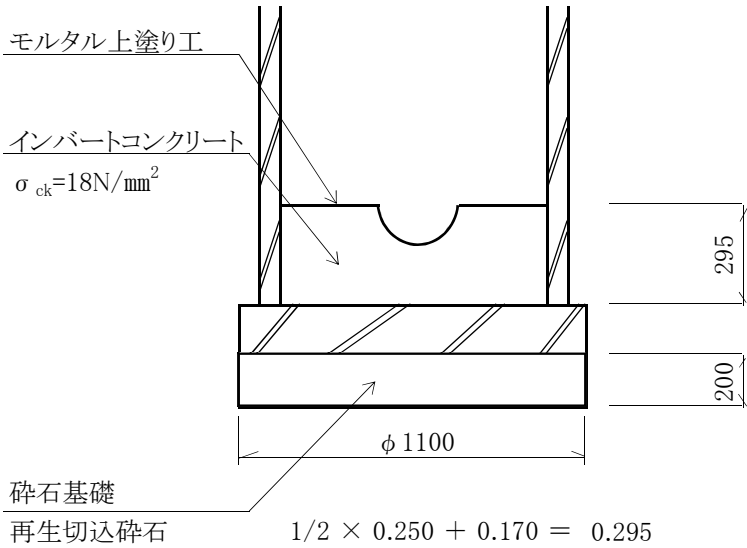
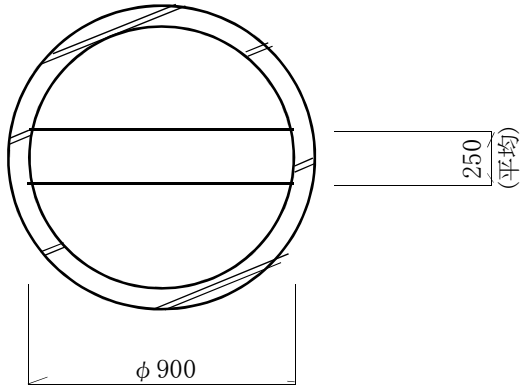
略 図	計 算 式	数 量
 モルタル上塗り工 インバートコンクリート $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$ 砕石基礎 再生切込砕石	砕石基礎(t=0.2m)	
	$1.10^2 \times \pi/4 \times 0.20 \times 1.2$	= 0.23 m³
	インバート	$0.90^2 \times \pi/4 \times 0.295$
	$-(0.250^2 \times \pi/4)/2 \times 1.23$	= 0.16 m³
	モルタル上塗り工	$0.90^2 \times \pi/4 = 0.636$
	$0.636 - 0.250 \times 1.23 = 0.329$	
	$0.329 + (0.250 \times \pi)/2 \times 1.23$	= 0.81 m²

1号マンホール底部工(開削部)数量計算書

略 図

計 算 式

数 量



砕石基礎 (t=0.2m)

$$1.10^2 \times \pi / 4 \times 0.20 \times 1.2 = 0.23 \text{ m}^3$$

インバート

$$0.90^2 \times \pi / 4 \times 0.295$$

$$- (0.250^2 \times \pi / 4) / 2 \times 0.90 = 0.17 \text{ m}^3$$

モルタル上塗り工

$$0.90^2 \times \pi / 4 = 0.636$$

$$0.636 - 0.250 \times 0.90 = 0.411$$

$$0.411 + (0.250 \times \pi) / 2 \times 0.90 = 0.76 \text{ m}^2$$

砕石基礎

再生切込砕石

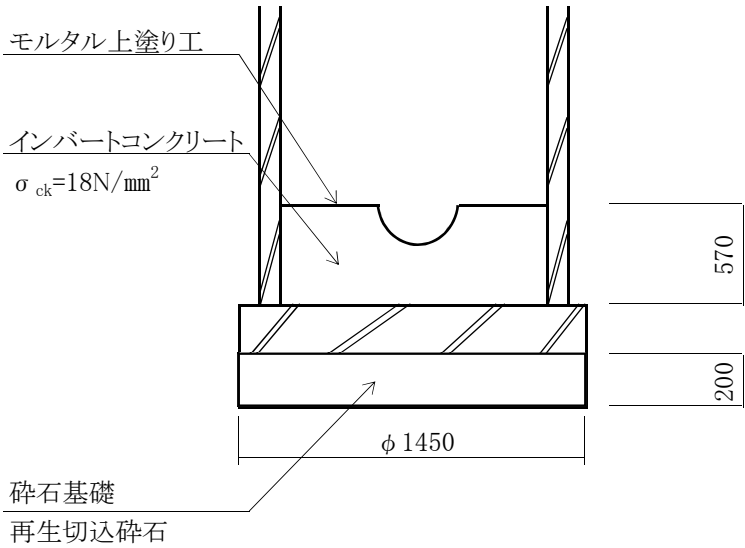
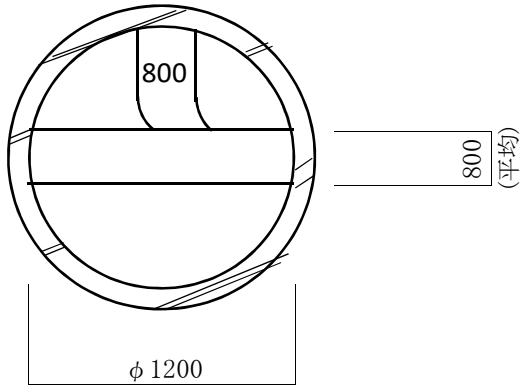
$$1/2 \times 0.250 + 0.170 = 0.295$$

2号マンホール底部工(開削部)数量計算書

略 図

計 算 式

数 量



インバート $1.20^2 \times \pi / 4 \times 0.570$

$-(0.800^2 \times \pi / 4) / 2 \times 1.40 = 0.29 \text{ m}^3$

モルタル上塗り工 $1.20^2 \times \pi / 4 = 1.131$

$1.131 - 0.800 \times 1.40 = 0.011$

$0.011 + (0.800 \times \pi) / 2 \times 1.40 = 1.77 \text{ m}^2$

副 管 設 置 工 總 括 表

[illegible]

副管設置工数量計算書(内副管1 VU200)

[illegible]

取付管工

取付管およびます工数量集計表 (BH0.2m³)

[illegible]

取付管			数量計算表 (BH0.2m ³)		
315-1 路線			右側1,2		
			占 用 2.70 m 1 箇所当り		
略 図			種 別	算 定 式	数 量
本管径 φ 250			取付管		
取付管径 φ 150 1 箇所			水平長	1.70 =	1.70 m
(外径) (0.165 m) 铸铁蓋			本管	((1.70 × 1)+(×)+(×)+(×))/ 1	
污水枡 φ 200 0 箇所 (箇所)			平均土被り	= 1.70	1.70 m
φ 300 0 箇所 (箇所)					
本管掘削幅 1.00 m 側溝幅 0.50 m			枡 深	((1.50 × 1)+(×)+(×)+(×))/ 1 =	1.50 m
表層厚 0.10 m 仮復旧厚 0.05 m			平均		(土留有り)
路盤厚 0.40 m フィルター層 0.00 m			掘削深	(1.70 + 1.50) × 1 / 2 + 0.10 =	1.70 m
本管舗装幅 1.00 m					
			掘削延長	1.70 =	1.70 m
			掘削工	1/2×(0.95 + 0.95)× 1.60 × 1.70 × 1 箇所 =	2.58 m ³
			砂基礎工	{1/2×(0.95 + 0.95)× 0.37 - π/4×0.165 ² }× 1.70 × 1 箇所=	0.56 m ³
			埋戻土量	1/2×(0.95 + 0.95)× 0.83 × 1.70 × 1 箇所 =	1.34 m ³
			路盤部土量	フィルター層 路盤部 0.00 + 1.62 × 0.40 =	0.65 m ³
			舗装切断工	(1.70 - 0.00 / 2 - 0.00)× 2 本 × 1 箇所 =	3.40 m
			フィルター層	(1.70 - 0.00 / 2 - 0.00) × 1/2×(0.95 + 0.95 × 0.00 × 0 箇所 =	0.00 m ³
			路盤工	(1.70 - 0.00 / 2 - 0.00) × 1/2×(0.95 + 0.95)× 1 箇所 =	1.62 m ²
			舗装版破碎表層工	(1.70 - 0.00 / 2 - 0.00)× 0.95 × 1 箇所 =	1.62 m ²
			アスコンガラ	1.62 × 0.1 =	0.16 m ³

$H = 1.70$ $b = 0.95$ $h1 = 0.37$
 $H1 = 1.60$ $b1 = 0.95$ $h2 = 0.83$
 $H2 = 0.40$ $b2 = 0.95$ $h3 = 0.50$
 $t = 0.1$ $b3 = 0.95$

既設取付管撤去

工 種	計 算 式	数 量
掘削	0.95 × 1.40 × 3.40 = 4.52	4.52 m ³
発生路盤材	0.95 × 0.40 × 3.40 = 1.29	1.29 m ³
舗装版切断	3.40 × 2.00 = 6.80	6.80 m
濁水	= 0.02	0.02 m ³
舗装版破碎	0.95 × 3.40 = 3.23	3.23 m ²
舗装殻運搬	0.95 × 3.40 × 0.10 = 0.32	0.32 m ³
埋戻し	0.95 × 1.00 × 3.40 = 3.23	3.23 m ³
切込碎石 割増1.20	= 1.94	1.94 m ³
下層路盤工 RC t=20cm	0.95 × 3.40 = 3.23	3.23 m ²
上層路盤工 RM t=25cm	0.95 × 3.40 = 3.23	3.23 m ²
仮復旧工 t=5cm	0.95 × 3.40 = 3.23	3.23 m ²

付帯工

付帯工数量集計表

工 種	種 別	規 格	単位	開削路線部 (仮復旧)	取付管部 (仮復旧)		その他	合 計
舗装撤去工					※取付管数量 集計表より			
	舗装切断工 (As)	舗装厚 t ≤ 15cm	m	165.00	6.80			171.80 m
	舗装版破砕工 (As)	直接掘削積込 t ≤ 15cm	m ²	82.50	3.24			85.74 m ²
	Asガラ処分工 (As)	直接掘削積込	m ³	8.57	0.32			8.89 m ³
舗装仮復旧工								
	表層工(仮復旧) 車道	再生密粒度アスコン t=5cm	m ²	82.50	3.24			85.74 m ²
	上層路盤工(仮復旧) 車道C	再生粒調砕石 t=25cm	m ²	76.20	3.24			79.44 m ²
	上層路盤工(仮復旧) 車道B	再生粒調砕石 t=30cm	m ²	6.30				6.30 m ²
	下層路盤工(仮復旧) 車道C	再生切込砕石 t=20cm	m ²	76.20	3.24			79.44 m ²
	下層路盤工(仮復旧) 車道B	再生切込砕石 t=30cm	m ²	6.30				6.30 m ²
組成戻し								
	舗装版破砕工 (As)	直接掘削積込 t ≤ 15cm	m ²					m ²
	Asガラ処分工 (As)	直接掘削積込	m ³					m ³
	路盤掘削工		m ³					m ³
	発生土処分		m ³					m ³
	不陸整正工	補足材なし	m ²					m ²
	基層工	プライムコート t=5cm	m ²					m ²
	中間層	タックコート t=5cm	m ²					m ²
	表層工(仮復旧)	t=5cm	m ²					m ²
舗装本復旧工								
	舗装版切削 (As)	t ≤ 5cm	m ²					m ²
	切削Asガラ処分工 (As)		m ³					m ³

付帯工数量計算書（仮復旧）

工 種	計 算 式				数 量	
舗装区間延長						
舗装C	315-1	315-2		B=1.00		
	38.10	+	38.10	=	76.20 m (t=5cm)	
舗装B	315-3			B=1.00		
	6.30			=	6.30 m (t=5cm)	
舗装撤去工						
舗装版切断工 t≦15cm	(	76.20	+	6.30	)× 2 本 = 165.00	165.00 m
舗装版破碎工 t≦15cm	(	76.20	+	6.30	)× 1.00 = 82.50	82.50 m ²
アスファルト殻処分工	76.20	×	1.00	×	0.10 + 6.30 × 1.00 × 0.15 = 8.57	8.57 m ³
道路復旧工(仮復旧)						
表層工						
(車道)再生密粒度アスコン t=5cm						
車道部				=	82.50	82.50 m ²
上層路盤工						
再生粒調碎石 t=25cm						
車道C	76.20	×	1.00	=	76.20	76.20 m ²
再生粒調碎石 t=30cm						
車道B	6.30	×	1.00	=	6.30	6.30 m ²
下層路盤工						
再生切込碎石 t=20cm						
車道C	76.20	×	1.00	=	76.20	76.20 m ²
再生切込碎石 t=30cm						
車道B	6.30	×	1.00	=	6.30	6.30 m ²

②本町4丁目 雨水枳縁塊布設替工

※ 既設蓋インターロッキング撤去・通常雨水枳蓋(グレーチング)に変更

No.	歩車道	枳種別	合流・分流	改修内容	インターロッキング撤去復旧(m ²)	備考
1～28	歩道	雨水枳	合流	縁塊・グレーチング蓋交換	0.24	

③美女木4丁目 L型縁塊布設替工

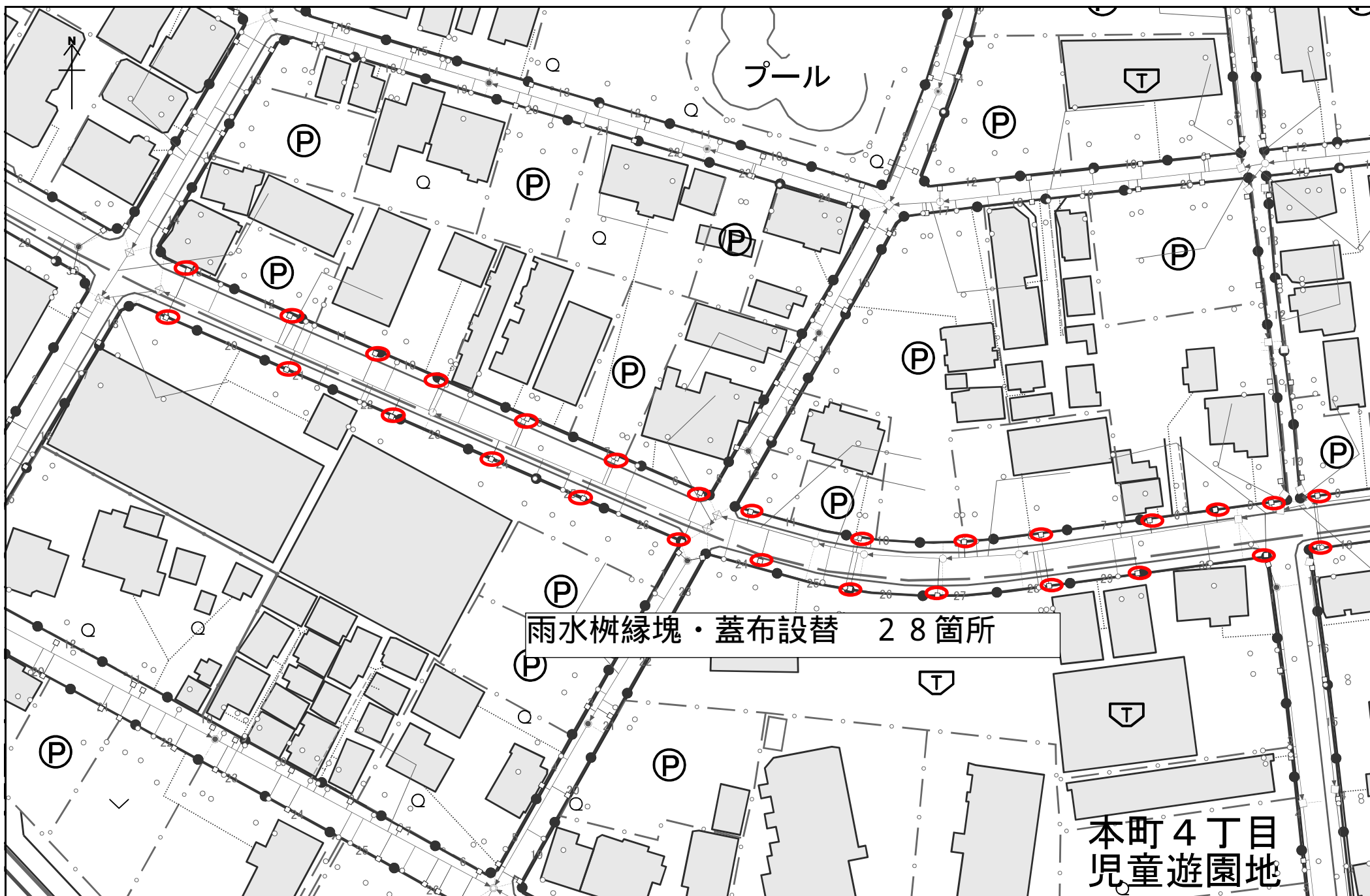
※L形側溝蓋(LU側溝)をL形縁塊、グレーチング蓋に変更

No.	歩車道	枳種別	合流・分流	改修内容	舗装復旧(m ²)	備考
1～6	車道	雨水枳	分流	L型溝蓋布設替	0.24	

④笹目2丁目 側溝改修工(雨水マンホールホップ流入口)

※流入枳 5cm取壊し・モルタル補修工

No.	歩車道	枳種別	合流・分流	改修内容	Coはつり工m ³	備考
1	車道	雨水枳	分流	側溝改修工	0.225	



プール

雨水枥縁塊・蓋布設替 28箇所

本町4丁目
児童遊園地

50 m
1:1,000

